

ふれあい

発行 社会福祉法人 北海道宏栄社



「初夏の小樽公園」
画：山田 守之

もくじ

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| ● 想いDEフォト 2～3頁 | ● 平成27年度事業計画 6頁 |
| ● 調理実習、虐待防止研修、施設見学 4頁 | ● 平成26年度決算報告、表紙の絵について、編集後記 ... 7頁 |
| ● 新利用者・職員の紹介、資格取得しました 5頁 | ● 施設のご案内／施設の利用状況／宏栄社の略図 8頁 |

ふれあいガーデン



想
DE
2015/0



新年会



今年の8月は
こんなに咲きました!!



いい
フォト
01~05



ジンギスカン
パーティ

01~05

いい
フォト
01~05



カラオケ大会

(紙面担当/高田栄一郎)

調理実習

平成27年2月28日（土）に当施設の栄養士と職員が講師となり、調理実習が行われました。今回はひな祭りが近いこともあり、女性に限定し、コーヒー牛乳ホットケーキとシュワシュワ炭酸フルーツポンチを作りました。

普段、自分でお菓子を作る機会がないので、講師から材料の分量や白玉の固さ・大きさなどを教えてもらい、わいわいとおしゃべりしながら、協力して一生懸命作っていました。

もちろん作った後は、皆さんでおいしく頂きました。今後も、年に数回行っていく予定です。



虐待防止研修

平成27年3月5日（木）と12日（木）の両日にわたり、全従業員を対象に虐待防止の内部研修会を開催しました。

今回の研修は、今年の1月15日（木）に札幌で開催された、「虐待防止責任者養成研修」の伝達講習ということで、櫻庭常務理事と武田管理部長が講師となって行いました。

研修のポイントとしては、虐待の疑いのある事案が発生した場合には、通報は「義務」であり「通報しない」という選択肢は無いこと。また、職員は職場の中で過度のストレスを抱えることが虐待の要因にもなっているということで、職員のストレスチェックが重要であることを学びました。



施設見学

平成27年2月6日（金）に、小樽市と姉妹都市である韓国ソウル特別市江西（カンソ）区から、区長、韓日親善交流協議会会長を含む総勢15名の方々が、施設見学のため来所しました。

また、平成27年5月21日（木）には、下川町から民生児童委員の方々15名が施設見学のため、来所しました。



ソウル特別市江西区代表团

新しい利用者さんの紹介

かねこ たつや
金子 達也さん

- 所属
クリーニング1課
- 出身地
小樽市
- 趣味
ゲーム・寝ること
- 好きな食べ物
お寿司

一生懸命頑張ります！

まつばら ともゆき
松原 智幸さん

- 所属
クリーニング1課
- 出身地
小樽市
- 趣味
絵・歌・時代劇・パソコン
- 好きな食べ物
海の幸

どんどん仕事を覚えて心に余裕を持って作業できるようにつとめます。

新職員の紹介



あさい ゆうや
浅井 祐也

- 所属
クリーニング1課
- 趣味
旅行
- 好きな食べ物
お肉

まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



いとう たくや
伊藤 拓也

- 所属
クリーニング1課
- 趣味
スポーツ（球技）
- 好きな食べ物
カレー

会社のお役に立てるようこれからも貢献していきたいです。



はが まさひろ
羽賀 正博

- 所属
クリーニング2課
- 趣味
ケータイゲーム
- 好きな食べ物
山岡家のラーメン

皆さんの足を引っ張らないよう、早く仕事を覚えられるよう頑張ります。

さとう まゆみ
佐藤 眞弓

- 所属
クリーニング2課
- 好きな食べ物
甘いもの
- 趣味
パチンコ

これまでと変わらずに頑張っていきます。



◆資格取得しました!◆

社会福祉士・精神保健福祉士：永井 美有
社会福祉主事：加茂 昇・佐々木拓也・高田栄一郎



(紙面担当／梶谷怜史、永井美有)

平成27年度 事業計画

I 法人の運営管理

- 1 理事会・評議員会の開催及び監査の実施
- 2 定款及び諸規程の整備
- 3 各種委員会・会議の開催～虐待防止委員会・安全衛生委員会・自治会懇談会等
- 4 組織機構の見直し～事業部クリーニング課の3課体制
- 5 利用者の処遇向上のための工賃向上計画の策定
- 6 役員・評議員・職員に対する研修の実施



II 福祉事業

1 利用者支援について

① 入所サービス

支援の基本として、入浴や居室清掃、寝具交換や買い物など、自立して日常生活や社会生活を営むことができるよう支援をするとともに、外出の機会が少ない利用者に対して日帰り見学会を企画する等、快適な寮生活を送れるよう配慮していきます。

② 通所サービス

就労移行支援事業については、一般就労を実現させるため、ハローワークを通じて就職活動に取り組んでいきます。また、作業能力が充分ある利用者については、積極的に就労継続A型事業への移行も進めていきます。

③ 相談支援事業

地域の障がい者の生活を支えていくための相談機関として、引き続き体制作りを強化していきます。

2 利用者支援の質の向上

利用者支援の質の向上のため、生活支援員の人材育成を強化します。

3 健康管理について

定期健康診断については例年通り実施し、疾病等の早期発見に努めるとともに、ワクチンの接種やうがい等によって感染防止の徹底を図ります。さらに、健康管理のための研修会も開催します。

4 給食サービスについて

給食運営会議や給食アンケートを通じて、利用者の声を反映させた行事食や選択食、ご当地メニューを提供していきます。

III 就労支援事業

1 組織及び生産体制の再構築について

① 組織及び生産体制の改善

宅配クリーニングの廃止に伴い、生産部門を強化するため3課制とし、各々課長を配属し行き届いた指導を基に組織の連携を図り、生産体制の見直しに取り組みます。

② 作業環境の改善

工場3階の作業場を2階に移設した事で、効率の良い作業環境となります。

また、防災上の避難経路の安全確保にもつながります。

2 売上目標

ホテル・病院・施設等のリネン価格の見直しを計画しております。前年度の実績を基礎とし、宅配の廃止に伴う減少分と得意先の変動要因を加えた目標とします。

3 リース資材の購入

円安の影響を受け資材高騰が続きリース資材費の支出増加の要因となっておりますが、前年同様在庫資材の管理徹底をする事により有効活用を図ります。

4 若手職員の育成について

組織再構築の重点として、若手職員の育成を行い、各職場の要に配置します。

平成26年度 決算報告

社会福祉法人北海道宏栄社

貸借対照表

平成27年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債および純資産の部	
I 流動資産	240,416,081	I 流動負債	58,582,295
II 固定資産	1,582,612,570	II 固定負債	32,327,445
有形固定資産	1,432,857,686	III 純資産	1,732,118,911
無形固定資産	112,815	基本金	3,754,750
投資等	149,642,069	国庫補助金等特別積立金	225,515,127
		その他の積立金	115,803,800
		次期繰越活動増減差額	1,387,045,234
		(内、当期活動増減差額)	▲ 16,041,064
合計	1,823,028,651	合計	1,823,028,651

事業活動計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I サービス活動増減の部		III 特別増減の部	
サービス活動収益	945,928,695	特別収益	26,409,110
サービス活動費用	964,466,259	特別費用	30,906,782
(内、利用者工賃、賃金総額)	(62,261,193)	特別増減差額	▲ 4,497,672
サービス活動増減差額	▲ 18,537,564	当期活動増減差額 (I + II + III)	▲ 16,041,064
II サービス活動外増減の部		IV 繰越活動増減差額の部	
サービス活動外収益	7,154,172	前期繰越活動増減差額	1,387,086,298
サービス活動外費用	160,000	当期末繰越活動増減差額	1,371,045,234
サービス活動外増減差額	6,994,172	その他の積立金取崩額	16,000,000
経常増減差額 (I + II)	▲ 11,543,392	次期繰越活動増減差額	1,387,045,234

※ 利用者工賃の一人当たり平均月額→約60,489円 (利用者総数116名)
ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

表紙の絵について

【作者紹介】

洋画家 山田守之氏 (小樽美術協会会員)

- 小樽市出身
- 平成11年より当法人の理事となる
- 画暦
 - ・油彩を始めて50年
 - ・油絵個展を10回開催
 - ・小樽市民美術展 第25回記念大賞受賞
 - ・小樽信用金庫のカレンダーに、2001年、2010年、2015年と3回採用される

【作品介绍】

～初夏の小樽公園～

小樽公園から絵を描こうと見晴し亭のある高台に上がって見た。小樽港を見おろそうとしたが公園の樹木が大きくなりすぎ、又いくつかの高層マンションが視界をさえぎり、港の水面がほとんど見えなかった。

見晴し亭から市民会館の方に少し降りたところで、木もれ日が散策路に落ちている風景を絵にしてみた。



編集後記

毎日暑い日が続いていますが、「ふれあい」第23号もご覧の紙面のとおりに、行事の思い出や、研修会の様子、新しい仲間の紹介、それに決算報告や事業計画と、盛りだくさんのニュースを皆さんにお届けすることができました。

また、今号からは、昨年採用された若手2人が編集委員としてメンバーに加わり、これからも新しい感覚で記事を作ってくれると思います。これからが暑さは本番ですが、各編集委員もこの暑さに負けずに24号の発行に向かって頑張ります。

【編集長:武田 守】

(紙面担当/武田 守、松本宏樹)

各施設のご案内



社会福祉法人
〒047-0011

北海道宏栄社

小樽市天神2丁目8番2号

電話代表 ☎ 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284

営業直通 ☎ 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyu.or.jp/> メールアドレス selp@koueisyu.or.jp

(営業時間) ■平日■ 8:40~17:00 ■土曜■ 8:40~14:50 ■日曜■ 定休日

障害者支援施設 北海道宏栄社 (定員54名)

障がいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業(生産型)を提供する施設です。

●施設入所支援事業(定員54名)

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業(定員54名)

日中活動の場として、軽作業等の生産活動の機会を提供します。希望に応じて食事の提供も可能です。

●就労継続支援B型事業(定員15名)

一般就労が困難な方に、雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

☎ 0134-25-1551

障害福祉サービス事業 宏栄セルプ (定員60名)

障がいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業(定員10名)

一般の会社に就労を希望する方が、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業(定員10名)

障がいが理由で一般就労が困難な65歳未満の方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業(定員40名)

一般就労が困難な方に、雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

☎ 0134-25-1551

相談支援事業所 あおば

在宅の障がいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業 ●特定相談支援事業 ●障害児相談支援事業

☎ 0134-27-4722

FAX 0134-33-1131

福祉ホーム

宏栄社福祉ホーム

(居室数14室・定員20名)

障がいのある方に、バリアフリー対応の居室を提供します。単身用と夫婦用の居室があります。

☎ 0134-24-7551

宏栄社の所在地



施設の利用状況

(平成27年6月1日現在)

区分	定員	利用者数				
		男性	女性	合計		
北海道 宏栄社 (入所)	施設入所支援	54	37	10	47	
	日中 活動	生活介護	54	31	8	39
		就労継続支援 B型	15	6	2	8
宏栄 セルプ (通所)	就労移行支援	10	6	0	6	
	就労継続支援 A型	10	7	1	8	
	就労継続支援 B型	40	34	14	48	

区分	居室数	利用中	空室
		宏栄社 福祉ホーム	単身用居室 8室(8名)
	夫婦用居室 6室(12名)	6室	0室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。